

オニノヤガラ

Gastrodia elata Blume
ラン科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数が限られていてあまり多くない。森林開発など生育環境の変化で個体数の減少が考えられる。

分 布

国内では北海道～九州に分布。県内では嶺北の一部の地域に分布している。

種の特徴

山地の森林に生える。腐生植物で地下には楕円形の塊茎がある。花茎は円柱状で高さ 40～100 cm、黄褐色の膜質の長さ 1～2 cm の鱗片葉をつける。花を総状に 20～50 個つける。短い花柄があり、花は黄褐色。花期は 9～10 月。

生育を脅かす要因

道路工事による森林開発など。

参考文献 福井県植物研究会 (1997)、遊川知久ほか (2015)、前川文夫 (1971)、大橋広好ほか (2015)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○						○						○	○	

アケボノシュスラン

Goodyera foliosa (Lindl.) Benth. ex C.B.Clarke var. *laevis* Finet
ラン科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では生育地が限られており、個体数が少ない状態となっている。今回の調査でも、山地での生育地の確認ができたが、登山道の拡張、踏みつけや崩落などにより、個体数は少なくなっている。

分 布

国内では北海道、本州中北部、四国、九州に分布。県内では嶺北、嶺南に分布している。

種の特徴

山地の林下に生える。茎は地表を這い、上部は立ち上がり、高さ 5～10 cm。葉は卵状楕円形で互生し、長さ 2～4 cm。幅 1～2 cm。先は尖り、基部は左右不相称。縁は波うつ。花茎は穂状花序で 3～7 個の花を持つ。花は淡紅紫色で偏側的につける。

生育を脅かす要因

森林開発や道路工事等による。

参考文献 福井県植物研究会 (1998)、大橋広好ほか (2015)、橋本保ほか (1991)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○			○	○			○	○		○	○	○

クモキリソウ

Liparis kumokiri F.Maek.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では生育地が限られており、登山道の拡張、踏みつけや崩落などにより、個体数は少なくなっている。

分 布

国内では日本全土に分布。県内では主に嶺北に分布している。

種の特徴

山地の林下や岩上に生える。葉は基部から出て 2 枚。楕円形で、長さ 5～12 cm。幅 3～5 cm。葉脈が隆起し、葉縁は波うつ。花茎は高さ 10～20 cm、翼状の稜がある。5～15 個の花をつける。

生育を脅かす要因

登山道整備、踏圧。

参考文献 福井県植物研究会 (1997)、大橋広好ほか (2015)、橋本保ほか (1991)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○	○	○	○	○		○	○	○	○